

令和6年度 支笏湖・定山渓地区自然体験活動推進協議会 概要

1. 各会議の開催概要、指標目標の達成状況等

1-1. 開催経緯

2017（平成29）年度に推進協議会が設置されてから2024（令和6年）までの会議開催状況をまとめるとともに、推進プログラムの概要と設置要綱を示した。

1-2. 会議概要

2024（令和6）年度は、以下、4つの会議を開催した。

会議名	日時	場所	議事内容
個別課題に関する意見交換会	2024(令和6)年 12月5日 13:30～15:30	札幌市教育文化会館	(1) 個別課題に関する情報共有 ・登山道について ・水辺利用について (2) 個別課題に関する意見交換
定山渓地区部会	2024(令和6)年 12月17日 14:00～16:00	北農健保会館 オンライン会議室 併設(支笏湖地区部会構成員傍聴)	(1) 推進プログラムについて (2) 推進プログラムの指標目標値の達成状況(2023年度) (3) 推進プログラムの取組状況について (4) 推進プログラムの新たな指標について
支笏湖地区部会	2025(令和7)年 1月17日 13:30～15:30	千歳アルカディアプラザ オンライン会議室 併設	(1) 推進プログラムについて (2) 推進プログラムの指標目標値の達成状況(2023年度) (3) 推進プログラムの取組状況について (4) 推進プログラムの新たな指標について
全体会	2025(令和7)年 2月18日 13:30～15:30	北農健保会館 オンライン会議室 併設	(1) 推進プログラムの検討経緯について (2) 推進プログラムの指標目標値の達成状況(2023年度) (3) 推進プログラムの取組(2024年度)について (4) 推進プログラムの取組(2025年度以降)について (5) 推進プログラムの改訂方針とスケジュールについて (6) 情報提供:北海道登別洞爺広域観光圏協議会の取組

「個別課題に関する意見交換会」では、支笏湖・定山渓の各地区の登山道の概況や利用状況のほか、今年度開通した札幌岳空沼岳縦走路の経過報告、ほかに登山道の管理責任について、また、定山渓地区で開催された豊平川周辺利用に関するワークショップの概要、支笏湖での受益者負担に関する取組の経過等について共有し、構成員や山岳関係者による意見交換を行なった。

定山渓地区及び支笏湖地区の「部会」では、推進プログラムの指標目標値の達成状況や各構成員による2024(令和6)年度の取組の実施状況、2025(令和7)年度に向けた取組内容について共有した。また、2025(令和7)年度の推進プログラムの改訂を見据え、新たな指標目標案を示した。なお、今年度の部会では、他地区の構成員等による傍聴も可能とし、定山渓地区部会で支笏湖地区部会構成員が傍聴参加した。

2月に開催した「全体会」では、2025(令和7)年度に向けた取組内容について共有し、来年度の推進プログラム改訂に向けたスケジュールについて確認した。また、昨年度に引き続き、「北海道登別洞爺広域観光圏協議会」(以下、観光圏協議会と記す)事務局の登別市担当者より今年度の観光動向やオーバーツーリズム対策の取組について共有がなされた。

1-3. 自然体験活動推進プログラムの指標目標値の達成状況について

支笏湖地区および定山渓地区の指標目標値の達成状況を以下に示した。

支笏湖地区 :

指標 年度 または	宿泊客延べ数 (人泊)		日帰り利用者数 (人)		季節変化 (最少月宿泊客延べ数/ 最多月宿泊客延べ数)			訪日外国人 旅行者数 (人)		訪日外国人 宿泊客延べ数 (人泊)	
目標値 2019年値	157,000	達成率	913,000	達成率	最少月/最多月	50	達成率	40,000	達成率	27,000	達成率
2020年度 または2020年	115,617	73.6%	353,547	38.7%	5月/10月	9	18.3%	-	-	968	3.6%
2021年度 または2021年	105,223	67.0%	322,693	35.3%	6月/12月	22	43.6%	-	-	24	0.1%
2022年度 または2022年	150,300	95.7%	500,700	54.8%	4月/1月	29	57.6%	※4,184	※10.5%	9,491	35.2%
2023年度 または2023年	153,600	97.8%	583,000	63.9%	4月/1月	30	59.6%	18,978	47.4%	24,986	92.5%

※2022年7-12月の下半期の推計値のため、達成率は参考値。

データ提供：1,2,5は千歳市提供、4は環境省提供、3は1のデータより算出

定山渓地区 :

指標 年度 または	宿泊客延べ数 (人泊)		日帰り利用者数 (人)		季節変化 (最少月宿泊客延べ数/ 最多月宿泊客延べ数)			訪日外国人 旅行者数 (人)		訪日外国人 宿泊客延べ数 (人泊)	
目標値 2019年値	1,138,000	達成率	419,000	達成率	最少月/最多月	70	達成率	131,000	達成率	209,000	達成率
2020年度 または2020年	361,334	31.8%	242,721	57.9%	5月/10月	15	21.3%	-	-	35	0.0%
2021年度 または2021年	394,487	34.7%	268,238	64.0%	6月/12月	17	23.7%	-	-	32	0.0%
2022年度 または2022年	759,880	66.8%	358,314	85.5%	4月/1月	57	80.9%	※14,149	※10.8%	28,777	13.8%
2023年度 または2023年	920,679	80.9%	378,056	90.2%	4月/1月	49	70.7%	117,383	89.6%	40,370	19.3%

※2022年7-12月の下半期の推計値のため、達成率は参考値。

データ提供：1,2,5は札幌市提供、4は環境省提供、3は1のデータより算出

<支笏湖地区>

- 2023 年度は、宿泊客延べ数、外国人宿泊客延べ数が目標値(2019 年値)の 9 割を超える回復となった。日帰り利用者数は、2019 年目標値の約 6 割(約 64%)にとどまった。
- 宿泊客の季節変化（最少月と最多月の比）の目標達成率は約 6 割となった。
- 訪日外国人旅行者数は 2019 年目標値の 47.4% であった。一方、訪日外国人宿泊客延べ数の達成率は 9 割を超え、国際線乗降客数が 2019 年比約 75% であったことから、早い回復となっている。

<定山渓地区> :

- 宿泊客延べ数が目標値(2019 年値)の 8 割、日帰り利用者数は 9 割、国立公園定山渓地区的訪日外国人旅行者数が約 9 割の回復となった。
- 宿泊客の季節変化（最少月と最多月の比）は、目標達成率は約 7 割であった。
- 訪日外国人旅行者数は、2019 年目標値の約 9 割に達した。一方で訪日外国人宿泊客延べ数は、2019 年値の目標値の 2 割に満たなかった。

1-4. 自然体験活動推進プログラムの取組について

構成員各機関で実施された取組について、推進プログラムの7つの基本方針別に整理を行った。

「基本方針1：支笏湖・定山渓地区の魅力を国内外へ周知」に対する取組

ホームページやSNSによる発信、世界的規模の商談会への参加、海外メディアへの掲載や出演に向けた招聘事業等の広報活動が構成員各機関で行われている。また、北海道のアドベンチャートラベル（A T）についても海外へ発信している。

「基本方針2：自然体験プログラムの充実」に対する取組

自然体験を提供するガイド人材の不足、育成が課題となっていることから、スタッフのスキルアップや技術向上、事業者の育成や組織運営等、個人レベルから組織までのさまざまな段階での支援、助成の取組が実施されている。

「基本方針3：国立公園にふさわしい自然体験フィールドの充実とその管理」に対する取組

現地における自然体験の情報提供のほか、散策路等の施設の整備や維持管理、適切な利用環境の維持等が進められている。

「基本方針4：サステナブル・ツーリズム（持続可能な観光）の実現」に対する取組

過剰利用や不適切な利用等による自然環境や利用環境の悪化を防ぐためのルールの設定や周知、交通混雑等地域生活への影響軽減、利用施設や交通の脱炭素化等の取組が進められている。サステナブル・ツーリズムへの取組のほか、その内容について旅行者や利用者へ伝えていくことがこれからは求められる。

「基本方針5：多様な滞在スタイルの推進」に対する取組

夜間のプログラム提供、ワーケーション等の利用推進の試みがなされている。

「基本方針6：周辺地域との連携、他の国立公園との連携」に対する取組

国立公園内外の観光施設の連携、定山渓では周辺地域での施設連携が進められている。

「基本方針7：自然体験活動の推進体制の強化」に対する取組

組織体制の見直しの検討、強化が進められているところもある。

1-5. 自然体験活動推進プログラムの今後の取組について

2025年度以降に予定されている取組のうち、新たな動き等が想定されるものを以下に示した。

【支笏湖地区】

- ・ A Tガイドの育成を目指した研修会の継続実施
- ・ 氷濤まつりにおけるシャトルバス運行の強化
- ・ 盤尻地区における自然体験の開発・実現に向けた計画の策定、シャトルバス、シェアサイクルなどの二次交通事業の検討・検証
- ・ モラップ線歩道について2025年度に測量・設計を実施し、2026年度以降に再整備工事を実施。
- ・ 外国人利用に対応した多言語標識等の改修、設計。
- ・ 車いす利用者向けのカヌー等のコンテンツの普及に努め、より広いお客様に対して支笏湖の魅力を訴求

【定山渓地区】

- ・ マーケティングに基づく戦略的な情報発信について検討。
- ・ 日帰り駐車場の充実に向けて、駐車場の舗装整備を実施のうえ、駐車場の有料化に向けた実証実

験を行う。

- ・「定山渓温泉かわまちづくり計画」に基づき、二見公園及び河畔園地整備に係る設計を実施、整備内容や整備後の利活用及び維持管理体制について、引き続き「定山渓地区(豊平川)かわまちづくり協議会」にて検討する。
- ・札幌中心部と定山渓との間で手荷物当日配送サービスのほか、他の交通手段の利用を促す情報発信等の取組結果を踏まえ、引き続き混雑解消に繋がる取組を検討の上、実施。
- ・DMO 設立に向けた準備体制を構築し、戦略や具体的な事業内容等の検討を行い、2025 年度末に候補 DMO 登録を行う予定。

【全般】

- ・ガイド事業の経営強化に向けた支援及びガイド向け支援施策活用事例集の作成
- ・あらゆる機会を活用して、DMC の育成を図り、スルーガイド、アクティビティーガイド、地域のステークホルダーの連携を強化する。
- ・ゼロカーボンパーク新規登録推進